



『痛みと心』

脳神経外科部長 石栗 仁

脳神経外科には、毎日多くの方が頭痛で受診されます。医者である私は、診察をし、CTやMRIを撮影して診断をします。そして殆どの人に異常は発見されず、『問題なし』とお話をするようになります。医者としては、これで一件落着し、“めでたしめでたし”となるのですが、患者様は何か腑に落ちないのか、それから長い話になることが稀ではありません。

私は話し好きですので、さらにお付き合いすることになるのですが、患者様は『他にもどこか悪いのではないか』という思いがあるようで、なかなか心配を拭い去れません。

この段階までいってしまうと、私は脳神経外科医から別の医師へ変身を始めます。つまり、痛む身体を診る医師から、痛みを感じる心を診る医師へと衣替えし、お話をすることが必要となってきます。

心と身体は相互に影響を及ぼし合っています。心に与えられた強い刺激(一般的にはストレスといわれるものですが)を、うまく解消できない時、人間は身体に異常をきたし、痛みなどの身体症状があらわれます。『心がちょっと疲れたから休みたい。そしたら、また元どおりになるからさ。』と言う声が私達医師には聞こえてきます。

心は意外と内気で口下手です。うまく自分を伝えることができず、痛みという身体症状であなたに危険信号を発しているのです。言葉がなく、ただ泣いて訴えるしかない赤ん坊と同じかもしれません。

検査で異常がないと言われ、痛み止めも効かないというあなたは、自分の「痛み」を取り除くため、この内なる声に耳を傾けなければなりません。自分の心に聞き上手な患者になってください。私は脳外科医ですが、こうしたことをあなたが気付くお手伝いはいたします。しかし私の話に納得できず、それでも医者に救いを求めたい方は、心療内科という看板のかかった病院を受診するようお勧めいたします。

きっと、しつこい痛みから解放されるきっかけになると思います。

〒464-8512 名古屋市千種区千代田橋1-1-1

KKR(国家公務員共済組合連合会)東海病院

TEL 052-711-6131